

ICDAホールディングス株式会社

International **C**onglomerate of **D**istribution for **A**utomobile



2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年12月5日

～バリューチェーンビジネスの強化で成長を目指す～



2015年3月期 第2四半期決算概要

- 消費増税前駆け込み需要の反動減に加え実質所得低下による買い控え等の影響を受け、販売台数が減少
- オークション市場の価格低迷により、中古車収益が悪化
- ホンダ新車においては、逆風の環境下で、当社は前年対比売上高の増加を達成

2015年3月期計画

- 新店舗出店効果に加え、新型車投入効果により巻き返しを図る
- 既存ユーザーに対する提案を強化



ICDAホールディングス

自動車販売関連事業

(株)ホンダ四輪販売三重北

- 新車販売 (ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取 (全メーカー)



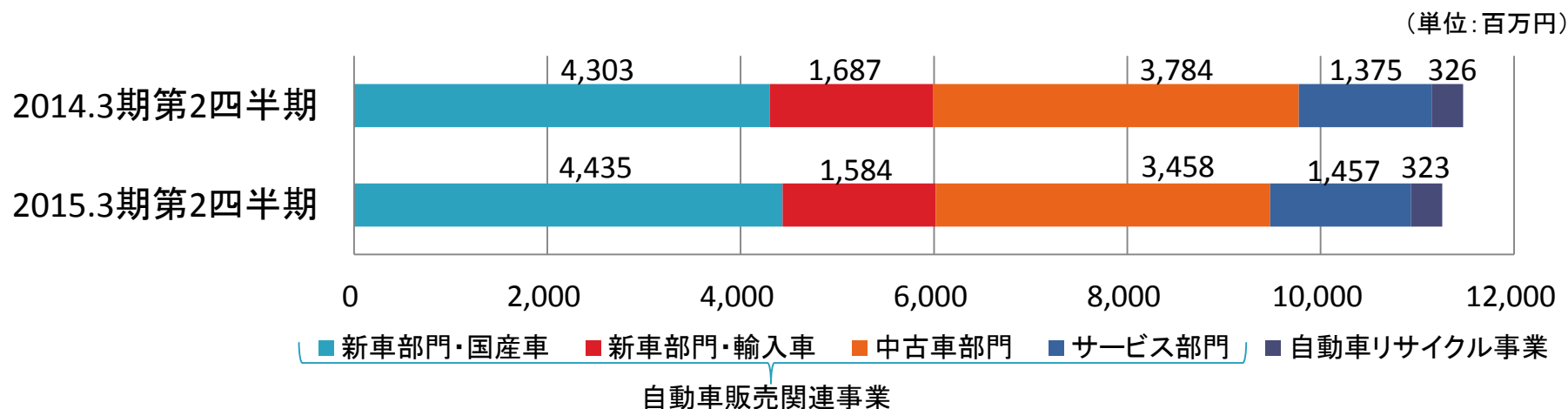
(株)オートモール

- 新車販売
ポルシェ (正規ディーラー)
Audi (正規ディーラー)
VW (正規ディーラー)
- 中古車販売・買取 (全メーカー)

自動車リサイクル事業

(株)マーク・コーポレーション

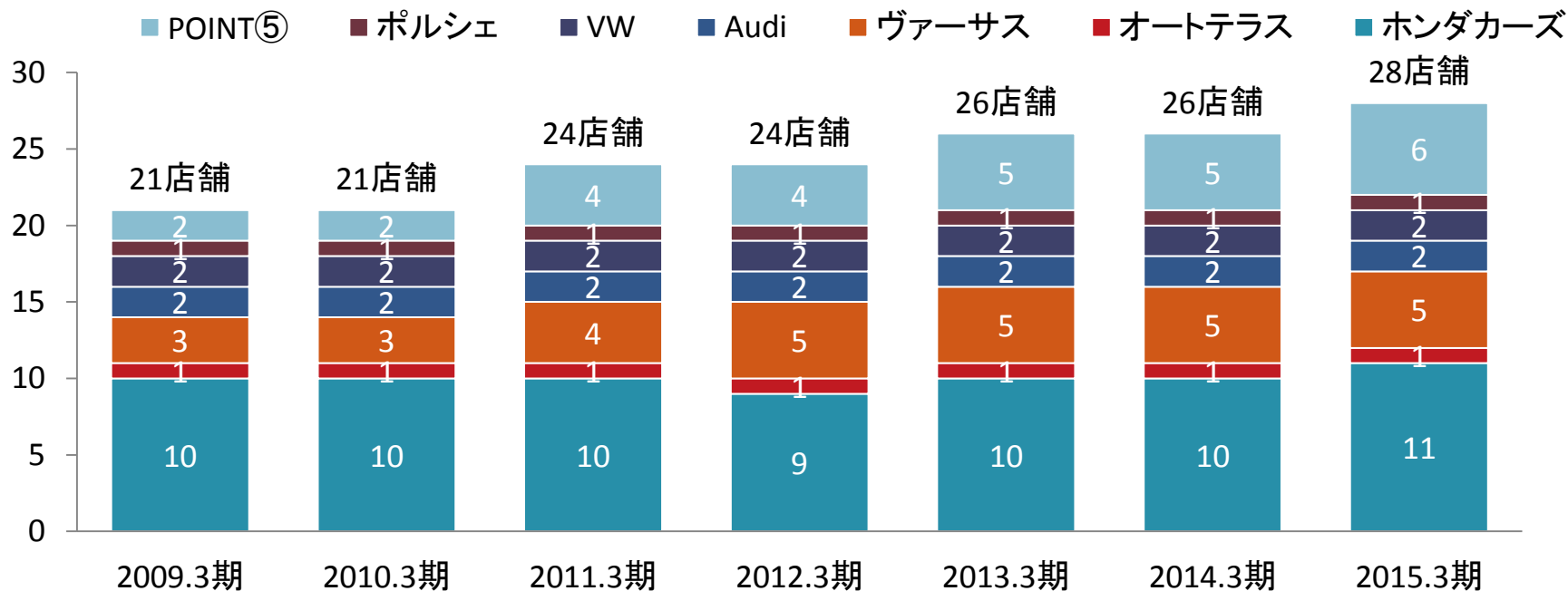
- 鈴鹿オートリサイクルセンター



2014年度の出店状況

ホンダカーズスモールストア四日市松本店・POINT⑤四日市松本店
(ホンダ新車・中古車販売 & 買取を併設したミニオートモールを平成
26年4月18日にオープン)

アウディ三重四日市
(三重県最大級のアウディショールームを平成26年6月7日に改
装オープン)





【長期的な営業環境】

- 自動車の保有台数のゆるやかな減少
- 自動車の乗替えサイクルの長期化
- 新車需要については、ダウンサイジング傾向⇒軽高登低（軽自動車の躍進）
- 環境対応車の発表により、燃費競争が加速

【上期の営業環境】

■自動車販売関連事業

消費増税前の駆け込み需要に伴う反動減
物価上昇に伴う実質所得低下による買い控え

■自動車リサイクル事業

販売台数の減少により下取車等が減少

2014年6月に、株式会社マーク・コーポレーションが三菱マテリアル株式会社へ
第三者割当増資を行い関係を強化

2015年3月期第2四半期決算概要

損益計算書

(単位:百万円)

	2014.3期 第2四半期	2015.3期 第2四半期	前期比	2015.3期 通期計画	前期比
売上高	11,486	11,263	98.0	25,016	93.4
売上原価	9,209	9,217	100.0	20,462	93.9
売上総利益	2,276	2,045	89.8	4,554	90.9
販売管理費	1,919	1,895	98.7	3,865	97.8
営業利益	356	150	42.1	688	65.0
営業外損益	△27	5	—	△39	—
経常利益	329	155	47.1	649	65.1
純利益	185	90	48.6	406	73.1

セグメント構成

(単位:百万円)

		2014.3期 第2四半期	2015.3期 第2四半期	前期比	構成比
自動車販売関連事業	新車部門(国産車)	4,303	4,435	103.0	39.4
	新車部門(輸入車)	1,687	1,584	93.8	14.0
	中古車部門	3,784	3,458	91.3	30.7
	サービス部門	1,375	1,457	105.9	12.9
	合 計	11,159	10,940	98.0	97.1
自動車リサイクル事業		326	323	99.0	2.9
合 計		11,486	11,263	98.0	100.0

貸借対照表

(単位: 百万円)

項 目			2014.3期	2015.3期 第2四半期	増減
資産の部	流動資産	現金及び預金	1,364	826	-538
		受取手形及び売掛金	355	342	-13
		商品及び製品	2,477	2,769	+292
		その他	332	384	+52
		流動資産合計	4,530	4,322	-208
	固定資産	有形固定資産	8,703	9,045	+342
		無形固定資産	70	70	0
		投資その他資産	810	799	-11
		固定資産合計	9,584	9,915	+331
	資産合計		14,115	14,237	+122

・新規出店の投資により商品及び製品と、有形固定資産が増加し、短期借入金(在庫等)と長期借入金(設備等)が増加

・買掛債務の支払いにより、現金及び売掛金が減少

・少数株主(三菱マテリアル)からの出資金払込みにより少数株主持分が増加

項 目			2014.3期	2015.3期 第2四半期	増減
負債・純資産の部	流動負債	買掛金	1,977	1,381	-596
		短期借入金	3,399	4,203	+804
		未払法人税等	228	53	-175
		その他	1,356	1,177	-179
		流動負債合計	6,962	6,815	-147
	固定負債	長期借入金	2,624	2,793	+169
		役員退職慰労引当金	241	248	+7
		その他	520	559	+39
		固定負債合計	3,387	3,601	+214
	負債合計		10,349	10,417	+68
	純資産	資本金	1,161	1,161	0
		資本剰余金	1,148	1,148	0
		利益剰余金	1,406	1,375	-31
		株主資本合計	3,716	3,685	-31
		その他の包括利益累計額合計	13	19	+6
		少数株主持分	35	115	+80
	純資産合計		3,765	3,820	+55
	負債純資産合計		14,115	14,237	+122

2015年3月期計画

10%消費増税の延期により、厳しい環境への準備期間が延びる

セグメント			下期の営業環境
自動車 販売関連事業	新車部門	国産車	ホンダから新機種が投入
		輸入車	円安による価格改定
	中古車部門		中古車市況の影響は継続
	サービス部門		車検・法定(12か月)点検等の繁忙期
自動車 リサイクル事業			三菱マテリアルとの関係が強化され、 レアアース磁石回収システムが本格稼働

損益計算書

単位: 百万円

	2014.3期実績	2015.3期計画	前期比
売上高	26,780	25,016	93.4
売上原価	21,774	20,462	93.9
売上総利益	5,006	4,554	90.9
販売管理費	3,948	3,865	97.8
営業利益	1,058	688	65.0
営業外損益	△61	△39	—
経常利益	996	649	65.1
純利益	555	406	73.1

セグメント構成

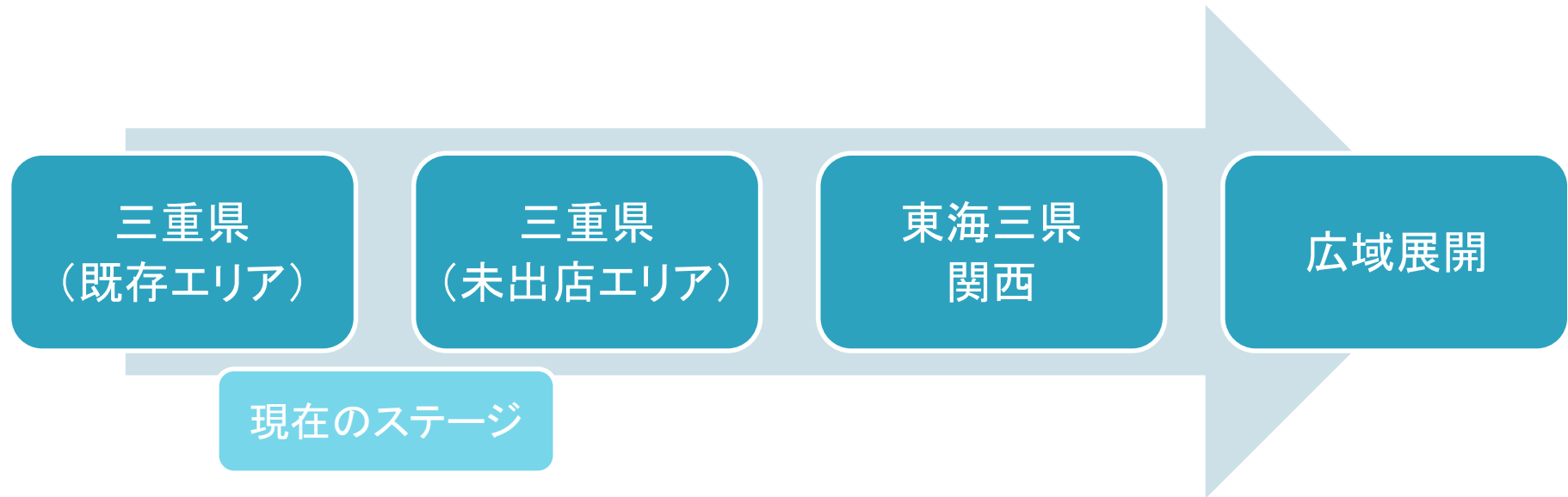
単位: 百万円

		2014.3期実績	2015.3期計画	前期比	構成比
自動車販売関連事業	新車部門(国産車)	10,575	10,222	96.6	40.8
	新車部門(輸入車)	3,943	3,718	94.2	14.8
	中古車部門	8,696	7,435	85.4	29.7
	サービス部門	2,929	2,958	100.9	11.8
	合 計	26,162	24,348	93.0	97.3
自動車リサイクル事業		618	668	108.0	2.6
合 計		26,780	25,016	93.4	100.0

セグメント			施策
自動車販売 関連事業	新車部門	国産車	DM・チラシ、残価設定クレジットによる新機種・新車の提案強化 営業環境に合わせ軽自動車やハイブリッド車の販売を強化 顧客情報(既存客の他店購入車)を活用した営業戦略の強化
		輸入車	ブランドディーラーに相応しいショールーム創り 認定中古車販売強化による販路拡大と収益向上 保険・ローン等の販売強化
	中古車部門		チラシ・ネットによる新規来店誘引 既存ユーザーに対する提案強化 オークション仕入を下げ、下取・買取を強化(仕入コスト削減)
	サービス部門		車検・法定(12か月)点検等の平準化させた入庫促進 メンテナンスパックの販売強化 アフターマーケット(リユースパーツ含む)への取組強化
	自動車リサイクル事業		使用済自動車の安定的確保 レアアース磁石回収システムを本格稼働

今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的にはM&Aを踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行うPOINT⑤をドミナント展開



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール(三重県鈴鹿市)が平成26年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている路上積み下ろしを解消

【今後の活用方法】

PBカー(自主企画カスタマイズカー)製作工場
グループ新車・中古車デポックスセンター



約20,000坪の敷地面積

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに女子力を活用
- 女性目線を活かした商談・接客、自動車整備の効率化

地域経済 11版 2014年(平成26年)7月2日(水曜日)

自動車整備に女子力

追跡 人手不足

自動車の販売店で、車検や修理を担う国家資格の自動車整備士のなり手が減っている。若者の車離れが進み、養成する専門学校の入学希望者も十年間で半減。ハイブリッド車(HV)などエコカーの普及で高度な知識を持つ整備士の需要が増える中、人手不足は深刻な課題。獲得に必死の販売店は、女性整備士の採用に活路を見いだすなど模索に乗り出した。(池内琢)

つなぎ姿の小柄な女性が、ボルトを手際よく締めしていく。「ホンタカース三重北鈴鹿道伯店」(三重県鈴鹿市)で働く喜多千代美さん(31)は、自動車販売店グループ「ICDAホールディングス」(同)が初めて採用した女性整備士だ。入社四年目で、毎月二百台の車検をこなす。子どものころからスポーツカーが好きで、整備士の道を選んだ。先輩の指導も担い職場リーダーとして忙しい。

「少ない応募の中から、良い整備士を採用する必要がある。女性が必要な選択

肢だった」と同社副社長の向井俊樹さん(40)。車を修理し、安全を保証する整備士の確保は車販売業にとって死活問題。力仕事だが、喜多さんは道具を駆使し、仕事の改善にも取り組む。向井副社長は「整備士の人材不足はこれからも続く。女性を積極的に採用していく」。同グループは既に来年入社採用で二人目の女性整備士を内定した。

人手不足の自動車整備業界で働く喜多千代美さん＝三重県鈴鹿市で



掲載日 中日新聞朝刊 平成26年(2014年)7月2日11ページ
 中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

2015年3月期 配当金予想

	配当性向	1株当たり配当金
2013.3期	39.1% (連結当期純利益の21.3%)	50円
2014.3期	84.6% (連結当期純利益の18.3%)	50円
2015.3期(予想)	76.3% (連結当期純利益の25.8%)	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

参 考 資 料



社名

ICDAホールディングス株式会社
 (International Conglomerate of Distribution for Automobile)

設立

2009年10月1日

本社

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表者

代表取締役社長 向井弘光

資本金

1,161百万円

発行済株式総数

2,099,969株(自己株式31株を除く)

事業内容

自動車販売関連事業
 自動車リサイクル事業

売上高

26,780百万円(連結)
 (2014年3月期)

経常利益

996百万円(連結)
 (2014年3月期)

従業員数

377名(連結)
 (2014年3月期)

※資本金・売上高・経常利益は2014年3月期の数字です。
 従業員数は2014年9月末の数字です。



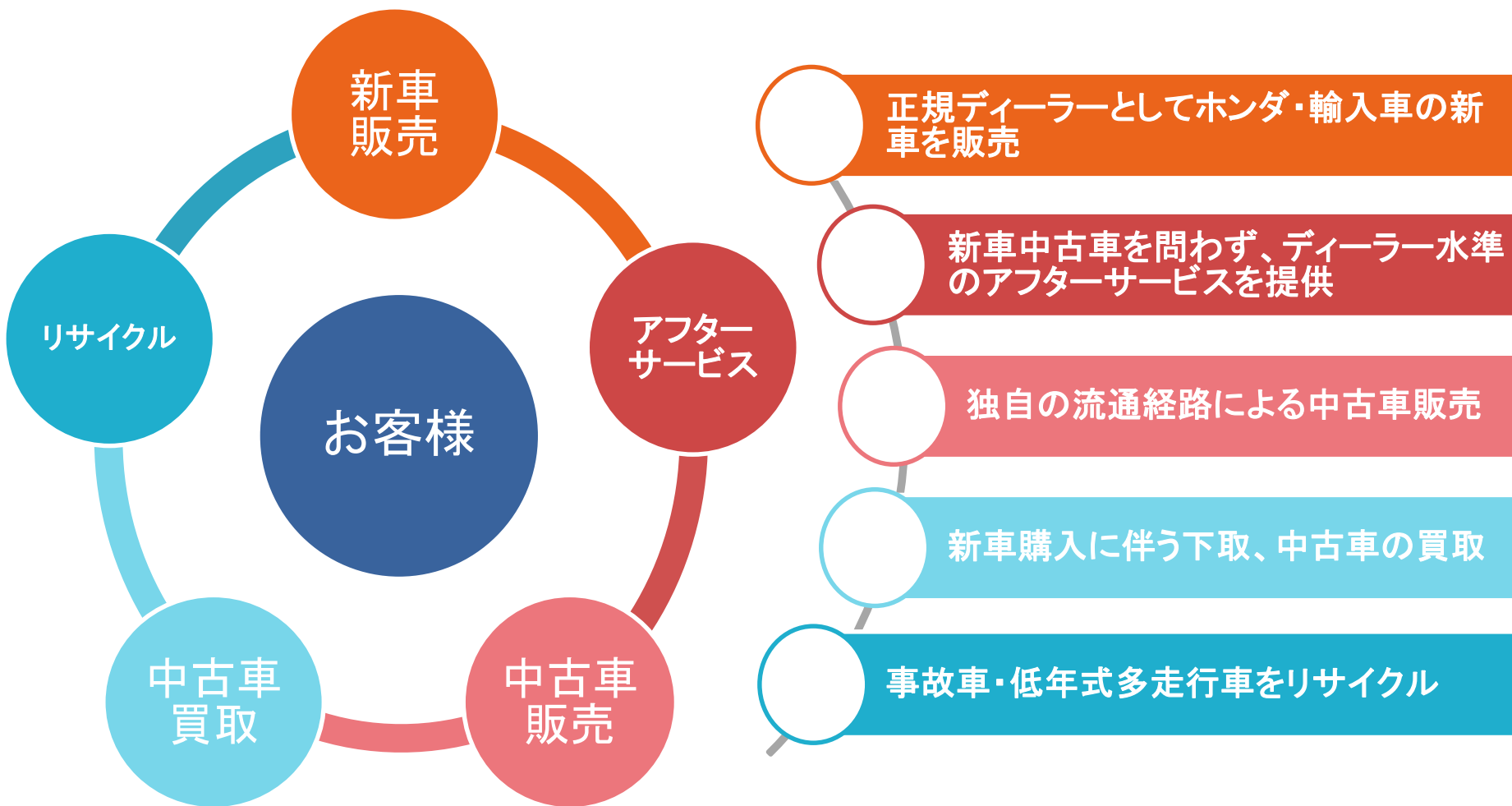


■ 様々な価格帯の自動車に対応することで、幅広い顧客層を獲得

★はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向が多い広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	中
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	
			低

■ 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大





- 自社グループにて中古車買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車流通する際の収益機会が増加

ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



新車ディーラーにおける一般的なバリューチェーンビジネス



車の種類・状態等に合わせて、グループ内で効率良く流通

POINT⑤とMARCがあるから
どんな車も買取や下取りが可能



中古車の確保・販売に有利！



ホンダ車なら



ホンダ車以外は



低年式・多走行車は



事故車・スクラップは





品質の高いリユースパーツを提案⇒**低コストでの修理が可能となり 顧客満足度が向上**





車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



車両保管ヤード

- 800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



前処理棟

- リサイクル法を遵守した作業
- フロンガス回収・エアバック車上破壊



液抜き棟

- 燃料・オイル類・ラジエター液の回収



反転機

- エンジン・足廻り部品の取り外し



ライン作業場

- 1台の車両に対し2名で作業
- 丁寧な「手バラシ」解体



EPリフト作業場

- 中古部品生産の専用リフト
- 質の高い商品を生産



300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm × 70cm × 70cmの形にプレス



プレス出荷

- 鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- 1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫



■「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO助成事業)



株式会社マーク・コーポレーションは、2012年から三菱マテリアル株式会社と株式会社ホンダレーディングの3社で協力し、「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(以下、「NEDO」といいます。)の助成事業において「使用済み自動車からの希少金属回収技術開発」と称し、使用済みモータからの高性能レアアース磁石リサイクル技術開発に取り組みました。

NEDOの助成事業は2014年4月に株式会社マーク・コーポレーションへ承継され、引き続きレアアース磁石の回収システムの技術開発を行っていくこととなりました。

独自の店舗アンケート

店舗に対する顧客の声の吸上げ

年間約18,000件のアンケートを実施



顧客の期待に応える魅力ある売り場へ

顧客の要望・期待に応える店舗

不備等の不満・意見を吸上げ店舗改善へ



具体的な事例

キッズコーナーの充実



マッサージチェアの導入



ペット連れOKの展示ルーム



サービス工場の見える化



本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 管理部総務課
TEL: (059)－381－5540